

蓄音機

共情遊戯「蓄音機」

ハ調 $\frac{2}{4}$

(1)

<u>1. 2</u> 3	<u>5. 4</u> <u>3. 1</u>	<u>1̇ 7</u> <u>6 1̇</u>	5. 0
ハコノ	ナヤカラ	コエガデル	—
6 <u>6 5</u>	<u>1. 6</u> 5 3	2. 1 2 3	2 0
ラツパノ	オクカラ	コエガデル	—
<u>3. 2</u> <u>1 2</u>	<u>3. 2</u> <u>1 2</u>	<u>3. 5</u> <u>6 5</u>	<u>1̇ 1̇</u> <u>6 0</u>
アレアレ	ズキブン	オホキナ	コエヨ
5 <u>3 1</u>	<u>1̇ 1̇</u> 6	<u>5 5</u> <u>3. 2</u>	1. 0
ダレガ	ウタツテ	キルノデ	ウ

◎歌

曲

遊情
戯表
蓄音機

振作作

付歌曲

土葛梁

川原田

五

郎幽貞

(2)

こんどは 楽隊 勇ましい

ビイ〜 ドン〜 勇ましい

太鼓や 笛を たたいて 吹いて

どこで ならして ゐるのでせう。

◎ 振 付

(一)はこの……兩腕を曲げて兩手を少しあげ。

なかから……兩手を向き合せ(胸の幅に離して)前方へ出す。

こゑが……左手を後ろに右食指にて前に在る蓄音機を指す、上體を少し前へ傾けて。

出る……其まゝ靜止。

ラツパの……兩手を胸前にまとめ頭上へ伸ばしこれを左右に開きて下ろす。

をくから……左足一步後へ兩腕をまげて胸側後方に引く、右膝を曲げ左膝を伸ばす。

こゑがでる……膝をまげ左膝を伸ばし上體を前へ出すと同時に兩手を前方へ(少しく左右に開きて)つき出す。

あれあれ……左足一步前に上體を前に傾げ左肩を下げ

左手を左耳後に聞く如くす。

ずわぶん……右足一步前に右手を右耳後に聞く如く

す。

おほきな聲よ……兩足を揃へ一度兩手を下げ更に腕を

曲げて兩前膊を立て掌を前方に向け上體をたらせ驚

きたる如くす。

たれが……左足を引き兩手を左方に流し、前の蓄音機

を見つめる。

うたつて……右足を引き兩手を右方に流す。

ゐるのでせう……左足を引き兩腕を曲げ兩前膊を立て

耳を後ろに手をおき、上體を少しく前に傾げ左肩を

下げて右下を見る。

(二)こんどは……兩手にて左側下方にて拍手一回す。

がくたい……右側下方にて拍手一回す。

いさましい……前方へ三步兩手を振りつゝ前進す。

ビイビイ……兩手を左方へ左足にて跳ぶ。

ドン／＼……兩手を右方へ左足にて跳ぶ。

いさましい……兩食指にて太鼓を打つ如くして足踏を

なす。

たいこや……胸前に兩手を出し掌を向き合せ太鼓を作

る。

ふえを……兩食指を胸前にまとめ更に少しく左右に開く。

たたいて……足踏しつゝ兩食指にて太鼓を打つ如くす。

ふいて……兩手を口の右方へ左手の甲の前にし口に近

く右方へ、右手は甲を上指先きを前にして左手の右方に、笛を吹く如くして足踏す。

どこで……左足一步後へ兩手を左下方に流し。

ならして……右一步後へ兩手を右下方に流し。

ゐるのでせう……第一の終りと同じくす。

幼児に聞かせる囃

水谷年惠

牝雞と猫

牝雞が卵を抱いて、じつとおうちの中に坐つてゐました。猫が戸のすき間からのぞいて、

「牝雞さん、一寸表へ遊びに出ませんか、空がよく晴れて、雲雀が面白い歌を歌つてゐますよ、あなたの好きな青蟲

が、菜のはつばにたかつてゐますよ。一寸出てごらん。」と言ひました。牝雞は、

「いゝえ、私は赤ちやん達が卵からかへるまでは表へなぞ出ません。」

と言つて、あとは知らん顔をしてゐました。

何日かたつと、牝雞の抱いてゐた卵の中から、可愛らし